

(再開 午後2時05分)

議長（勝山 正）

休憩前に引き続き会議を開きます。

8番 山崎栄喜 議員。

(「はい、議長。8番。」の声あり)

(8番 山崎栄喜 議員 登壇)

1. 道の駅ファームス木島平再整備事業について

8番 山崎栄喜 議員

議長から発言が許されましたので、通告に基づき、道の駅ファームス木島平再整備計画について質問します。

なお、この件については先に2人の議員から質問があり、重複している部分もございますが、通告に基づき質問をさせていただきます。

道の駅ファームス木島平のサウンディング調査の結果を踏まえた、道の駅再整備方針（案）が議会に示されました。道の駅は村の大きな課題であるとともに、村民の重大関心事項であります。事業実施にあたっては、村民の理解と合意が不可欠と考えます。

そこで、議会全員協議会で質問し答弁のあった事項も含めまして、次の点について村長に伺います。

1点目、直売所たる川の参画の見通しはどうか。

2点目、どのように再整備しようとするのか、整備方針（案）の概要について伺います。

3点目、4月26日の議会全員協議会資料には、龍興寺清水と木島平米を原料にしたクラフトビールの製造販売、みゆきポークを原料にした生ハムの製造販売が導入機能の一部にありましたが、原料確保の見通しはどうか。

4点目、サウンディング調査項目に施設運営の収支予測がありましたが、収入はどのくらいの額が予測されているのかどうか。

5点目、現施設の一部の取壊し費用と簡易宿泊施設も国の交付金や過疎債の対象になるのかどうか。

6点目、概算事業費、財源及び実質村の負担額はどのくらいになるのか。

7点目、収益事業に関わる赤字補填や駅長・事務員の経費を、指定管理費や委託料等の科目を問わず、村から支出することはないか。

8点目、収益機能の整備に要した過疎債償還額の3割相当額を償還期間中、村へ納付することとしていますが、過疎債の制度上問題がないのかどうか。

9点目、この事業が村にもたらす経済波及効果と地元雇用について伺います。

10点目、現施設の解体費用及び建設工事費は、村の実施計画上では、項目のみの記載となって金額が入っておりませんが、既に実施計画にある事業に影響を及ぼすことはないか。

11点目、仮に過疎債を2億円借りた場合、借入れ時点と償還ピーク時の財政健全化判断比率である実質公債費比率と将来負担比率はどうか。

以上、11点について質問します。

議長（勝山 正）

日碁村長。

(村長「日碁正博」登壇)

村長（日碁正博）

それでは、「道の駅ファームス木島平について」のご質問であります。

最初に、1点目は「たる川の参画見通し」ということでありますが、たる川の役員さんから現状等をお聞きする中で、将来的に農産物の直売機能を道の駅に移してはどうかという提案をしております。

ただし、現地点、再整備に必要な概算事業費算定のための予算などを議会でお認めいただいておりますので、これらの予算が認められ、8月に予定する整備方針を定める中で意向を確認したいと考えております。

2点目以降については、それぞれの担当課長に答弁をさせます。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

それでは、村長の答弁に補足し、質問項目の2点目から9点目についてお答えいたします。

2点目の「再整備方針（案）の概要」ですが、方針（案）のうち再整備の目的、スケジュールについては、丸山議員、江田議員のご質問でお答えしたとおりです。

整備概要の案といたしましては、現施設のうち東側の飲食物販施設部分を残し、建物の構造上の課題がある西側のマルシェホールや、加工室がある棟を取り壊して、新たに必要な規模の建物を新築するものであります。

また、導入機能としては、村が必須として考えるインフォメーション、公衆トイレ、飲食提供施設、農産物等販売施設、屋内外一体的に利用できる遊び場、これとサウンディング調査で民間事業者から提案があった採算性ある運営に必要な機能として、コワーキングスペース、簡易宿泊施設、地域資源を生かしたブルワリー、生ハム製造所、以上の機能について導入の可否を検討するものであります。

3点目の「クラフトビール、生ハム製造に必要な原料の確保の見通しはあるのか」とのご質問についてお答えします。

この原料の確保の見通しについて、現時点では精査しておりません。江田議員ご質問の答弁の中でもふれましたが、導入機能に対する懸念事項としており、現時点で導入を決定したものではありませんのでよろしく願いいたします。

4点目の「サウンディング調査で、事業者が予測した収入額はどれくらいか」というご質問であります。事業者が予測した売上高は2億1,000万円です。

5点目の「現施設の一部取壊しと簡易宿泊施設整備に国の交付金と、過疎債が対象になるのか」とのご質問にお答えします。

再整備計画の財源として、国の交付金と過疎債を予定し、国の交付金については県の担当課、過疎債については長野財務事務所と県の担当課に確認し、対象にできる旨の回答をいただいております。ただし、解体費の適用については、新施設を解体跡地に建設することが条件になります。

6点目の「概算事業費、財源及び実質村の負担額はどのくらいか」とのご質問にお答えします。

現時点で導入する機能や施設規模を決定しておりませんので、概算事業費はお答えすることができません。概算事業費につきましては、今後策定する再整備計画の中でお示ししますので、よろしく願いいたします。

なお、事業費に対する村負担額のイメージとして、仮に事業費が4億円とした場合であります。国庫補助金が事業費の2分の1で、補助金が2億円、残りの2億円を過疎債で借り入れたとした場合、過疎債の償還に対する交付税措置も加味すると、事業費の85%補助となりますので、事業費が仮に4億円の場合であります。村の負担額は6,000万円となります。あくまでも負担割合の参考のイメージとしてお願いしたいと思っております。

7点目の「収益事業に対する赤字補填など村の負担はしないか」とのご質問ですが、収益事業の運営に関して村が負担することは予定しておりません。

8点目の「収益機能の整備に要した過疎債償還額の3割相当額を償還期間中、村へ納付することとしているが、過疎債の制度上問題がないか」とのご質問であります。問題ないと確認しております。

9点目の「経済波及効果について」ですが、現時点で導入機能を決定しておりませんので試算しておりません。地元雇用につきましては、指定管理者を募集する際に、地元雇用に対する考え方を審査項目に加え、地元雇用を促したいと考えております。

議長（勝山 正）

丸山総務課長。

(総務課長「丸山寛人」登壇)

総務課長（丸山寛人）

それでは、私の方から10点目と11点目についてお答えしたいと思います。

なお、答弁については、令和8年に解体及び建設工事を国庫補助金、過疎対策債それぞれ2分の12億円、総額4億の事業費とした場合でお答えしますのでよろしくお願い致します。

まず10点目でございますが、国庫補助金及び過疎対策債が計画どおり確保できれば、翌年度以降に償還額のうち、交付税措置されない部分はいわゆる単独財源、一般財源になることから、事業に少なからず影響は出るものと考えます。

いずれにしましても、国庫補助金、過疎対策債が計画どおり確保できなければ、実施年度においても一般財源が必要となります。

11点目の「過疎債を2億円借りた場合、借入れ時点と償還ピーク時の財政健全化判断比率である実質公債費比率と将来負担比率について」のご質問でございます。

令和8年度に過疎対策債2億円を借りた場合の実質公債費比率と将来負担比率の状況については、現在お示している財政計画との比較ということで、ご了解いただければと思います。実質公債費比率は令和9年で変わらずの11.2%、令和10年度が0.1ポイント増の11.2%となります。

なお、実質公債費比率算定上の公債費のピークは、令和3年度となりますが、一般会計のみの公債費のピークは令和10年度となります。また、将来負担比率については、令和8年度が10.5ポイント増の37.8%、令和9年度が6.1ポイント増の52.3%、令和10年度が5.4ポイント増の52.7%となります。いずれにしましても、ピークは令和10年度となります。

実質公債費比率及び将来負担比率は算定数値により変動しますので、現在の財政計画上での比較となりますのでよろしくお願い致します。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

それでは、質問させていただきますが、直売所たる川については、参画見込みが極めて高いというふうに判断してよろしいでしょうか。確認をさせていただきたいと思います。

議長（勝山 正）

日碁村長。

(村長「日碁正博」登壇)

村長（日碁正博）

たる川として入るかどうかってなると、またちょっと話が変わってくるかなと。要するに、農産物の販売機能を道の駅に移すということで、今のたる川組織がそのまま移行するということはなかなか難しいかなというふうに思っております。ただ現時点、まだ案の案の状況でありますので、具体的に

提案ができない、提言はしていますが、話ができない状況であります。

ただ、農産物の販売拠点を道の駅に移してはどうかということについては、これまでずっと話をしておりますので、そこらへんについては特段異論はないのかなと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

2点目の質問で、導入機能として簡易宿泊施設があるわけですが、業者によっては、それは希望しないという業者ももちろんいるだろうと思いますが、それも必須ということになると、その公募のプロポーザルをこれからすることになるんですが、そこへの参加企業が少なくなってしまうのではなかろうかと。業者によっては、宿泊業務はやりたくないという人がいると思いますので、その辺についてどう考えているか、ちょっとお願いしたいと思います。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

江田議員のご質問の中でもお答えいたしました、「提案のあった機能について必須とするかどうか」でございますけれども、そういったほかの事業者が参入しにくいような機能について必須とする考えはございません。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

逆に、ぜひそれ欲しいという人がいた場合にどうなるのでしょうか。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

運営事業者を公募する際に、村が求める必須機能を掲げます。そのほかに、その運営事業者に提案する機能の提案を求め、それぞれの内容によって事業者を選定する考えでございます。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

それでは3点目の質問で、「現時点では、原料確保の見通しについて精査をしていない」という答弁

でしたが、私が調べたところ、みゆきポークの養豚農家は2戸しかありません。そして、年齢はお二方とも70代半ばでありまして、しかも、後継者もないという状況ということで聞いております。ということで、みゆきポークの確保は大変難しいと思います。

4月の全協と5月の全協では方針（案）の資料が違いますが、今申し上げたのは4月の時点での計画でございます。いずれにしる、原料の確保が非常に難しいと思われまます。

そこで、みゆきポークが確保できなかった場合、生ハムの加工場は、決めているわけじゃありませんので、それはどうするのか。代替りの材料があるのかどうか分かりませんが、お答えを。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

生ハムの製造につきましては、今回のサウンディング調査で事業者から提案のあったものでございまして、それを必須機能にするかどうかについて、今、議員からありました懸念事項、そういったものを精査して、これから村の方で必須機能にするかどうかを見極めるということでもあります。必ずしも必須機能に入れるわけではございません。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

確保できない場合には、生ハムの製造所に関連する設備や備品、これについてはいらなくなると判断をいたしますが、したがって、整備する機能からそれは除外することになるんでしょうか。

また、生ハムの製造に限らず、加工室というくくりで、業者によってはどんな加工品が有効とされているか分かりませんので、そういうことで残す方法もあるんじゃないかと思いますが、どうでしょうか。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

具体的な施設の中身の話については、運営事業者を公募し、その中で提案のあった機能を設計の方に反映していく予定になりますので、そういったことで捉えていただければと思います。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

繰り返しの話になるかと思いますが、生ハムについては非常に原料の確保が懸念されます。生ハムの材料とすれば、豚肉、鶏肉というケースもあるようでございますが、ほかのものはあんまり考えられないだろうと思いますので、非常にそれについては難しいだろうと思いますが、絵に描いた餅で

は困るわけでございまして、計画の実現性というものが非常に大事だと私は思います。

これからということの方針であります、やはり村は、このサウンディング調査で事業者の計画を聞くときに、ただ計画を聞くだけでなく、こういう収益事業に関わる計画の実現性ですね、本当に大丈夫かどうかというもの、原料も含めてですが、そういうものの審査を行うべきではなかったのではなかろうかと私は考えます。終わった話ではございますが、方針がコロコロ変わってきたり、内容が分からない状態になっているんですよね。その中でゴーサインを出していくのは非常に難しいと私は思います。

なぜ、今の計画の実現性について、調査、審査を行わなかったと思いますが、行わなかった理由が何かありましたら。

議長（勝山 正）

日碁村長。

(村長「日碁正博」登壇)

村長（日碁正博）

生ハム、みゆきポークの状況については、サウンディングの際に、こちらからも当然話をしてあります。その場合どうするのかと。みゆきポークというのは一つの、言ってみれば、材料だってほかかた仕入れることも可能だろうし、また、信州サーモン等の生ハムもいいんじゃないかというような提案も受けています。

みゆきポークってということで、例えばということで挙げたものがずっとこれまできているんですが、みゆきポークにこだわっているわけではないと考えております。ただ、そのへんについては、サウンディングの際にもこちらの方から当然申し上げて、話をしております。

また、再三話が出ていますとおり、将来的にやっぱり採算とか効果、検証が必要になります。その辺をしっかりと、これからまた検討しながら最終的に入れるのか外すのか、その辺の判断をしていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

村長から答弁いただきましたが、信州サーモンも生ハムになるのかどうかというのが1点。

それから豚ですね。私が聞いた範囲では、長野以北で養豚農家というのは、先ほどのみゆきポークの2件と中野市の1件だけと聞いています。ということは、非常に原料の確保は、日本全国探せばあるのかもしれませんが、この北信地区には非常に乏しいと思います。その辺で、材料確保が心配になってくると思います。

議長（勝山 正）

日碁村長。

(村長「日碁正博」登壇)

村長（日碁正博）

その辺も含めていろいろ検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

4点目の質問で、収支予測であります。事業者が予測した売上高は2億1,000万ということでございますが、ブルワリーであったり、生ハム製造所、簡易宿泊施設など収益事業については、これから検討ということでございまして、まだはっきりしない段階でございますし、そういうことからすると、かなり難しいだろうと思いますが、ということで、今、弾き出された金額は下回る可能性があるんではなからうかと思えます。それは参考ということでお聞きをして、この件については答弁は求めません。

6点目に、概算事業費等の関係でございますが、3月に行いましたサウンディング調査項目には、施設規模や建築単価が入ってございましたので、概算事業費を算出しようとすればでき、早く議会に示すことができたんではなからうかというふうに思います。それをしなかった理由について、お聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

「サウンディング調査の際に、事業者から概算事業費の提案があったんじゃないか」ということですが、今回のサウンディング調査なんですが、調査項目として一覧を掲げておまして、その中に概算事業費という項目もございました。ただ、条件といたしまして、全項目を網羅した回答をせずとも良いという条件で実施しておまして、そういった建設事業費の提案はございませんでした。

今回のサウンディングにあたっては、今ある施設を想定した提案の内容でありまして、今ある建物を壊して、新しい建物を作るというような事業者からの提案ではなく、現状を活用した提案であります。ただ、現状課題がございますので、そういった部分の修繕等については村の方で対応してほしいという内容でございました。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

概算事業費の件については、私も他の自治体のことをいろいろ調べてみました。

愛知県の日進市では、計画書に何億円～何億円と幅を持たせて書いてありまして、「今後の基本設計等における検討、調整により変更となることがあります」としています。一応、総事業の額を示している。また、福島県石川町、ここでは金額をはっきりと明示し、現時点では各種調査を実施していないため、詳細な積算は困難であることから、あくまでも概算事業費であると断り、町の負担額の上限のみを明示しています。

これに対して、本村の整備方針（案）では金額が示されなかった。質問の中ではお答えいただいておりますが、方針（案）では示されておりませんでした。

私が思うには、概算でありますので、およそいくらかかるかということでいいと思います。どのぐらいの規模になる、どのぐらいかかると、村の負担はどのぐらいかかると、このぐらいは示してもらわないと判断できないですね。中身もちろん問題ですが、概算設計をこれからっていうこ

とばかりをおっしゃいますけれども、やはりそういうのは、先ほどの中でも、業者から聞き取りの中で、今までの全協の中でも村長は建て替えるということもちょっと発言されたこともあるんですよね。そういうことも、やはり検討して、資料集めしといた方がスムーズな説明になるのではなからうかと私は思います。

原料確保の懸念があるということもあって、肝心のブルワリーだとか、生ハム製造所、こういった収益事業が検討ということでは、施設の機能や事業費も固まらないということで、どうなるかわからないのに進めるということで非常に不確定な部分は多くあって、ちょっと計画に無理があるのではなからうか、時期尚早ではなからうかと私は思いますが、いかがでしょうか。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

道の駅につきましては、それぞれ課題があるということで、平成29年に利活用検討委員会が組織されて、その結果を踏まえて平成30年から直営の施設に移行しております。その検討の際には、村民の皆さん、それから事業者の皆さんにお集まりいただいて、検討会が6か月にわたって開催されております。また、令和3年度には道の駅の検討をするポテンシャル調査をされて、また議会の方にもその結果が報告されたと思います。令和5年に入りまして、村民の皆さん、事業者の皆さん、公募なりをして再整備に向けた検討委員会を立ち上げて、それぞれ必要な機能等について議論をしていただきました。

そういった経過を踏まえて、今回の再整備事業の方針の案を示させていただいたところでありますので、そういった経過を踏まえての案ということで、時期尚早かどうかというところは、その辺を加味するとそうでもないのではないかなと考えております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

ただ今答弁いただいた内容については私も承知しておりますが、今年の3月の当初予算の議決では、方針があんまり明確じゃないというようなこともありまして、修正案が可決されているわけですね。その状況と今回の状況は、そんなに大した進展がないと私は判断いたします。それは私の判断だけかもしれませんが、私はそう思いました。

平行線だと思いますので、次の質問にいけますが、7点目の関係ですが、収益事業に関わる赤字補填や駅長・事務員の経費について、これは、私は過去の質問でも何回も問題視してきましたが、今回は村の負担は予定してないということで、これについては評価をいたしますが、そこで、指定管理者公募プロポーザル実施要項及び指定管理契約書に、そのことを明示していただけるかどうか伺います。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

指定管理者を公募する際の募集要項には、そういった議員からお話がありました指定管理費等の条

件を設定いたしまして、そういったものの内容を見て事業者を決定することとしております。

議長（勝山 正）

山崎議員。

再質問

8番 山崎栄喜 議員

8点目の質問も先ほどの7点目と同じようなものですが、納付金についてであります。私が調べたところほかの自治体でも納入をいただいている例があることを確認しております。このことについても評価をいたしますが、やはり先ほどと同じように、契約書あるいはプロポーザル実施要領に記入をしていただけるかどうか、確認をさせていただきたいと思っております。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

こちらと同じように募集要項等に記載をいたします。

議長（勝山 正）

山崎議員。

8番 山崎栄喜 議員

以前の計画に比べまして、村の実質負担額がかなり少なくなるということでありまして、それについては大いに評価をいたしますが、うまくいくかどうかというものの懸念が非常にあります。総合的判断しますと、なかなか難しいなというのが率直な感想ですが、以上申し上げて、私の質問を終了させていただきます。

議長（勝山 正）

以上で、山崎栄喜 議員の質問は終わります。

（終了 午後2時41分）

議長（勝山 正）

本日の会議における発言について、後日、会議録を調査し不適切発言があった場合には、議長において善処いたします。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

本日はこれで散会します。

ご苦労さまでした。

（散会 午後2時42分）